

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」
市民ワークショップ
報告書

令和5年9月
武蔵村山市

目次

I. はじめに	1
1. ワークショップの目的	1
2. ワークショップのプログラム	1
3. 運営体制	2
II. 開催結果	3
1. 第1回	3
2. 第2回	9
3. 第3回	17
III. まとめ	27
No. 1 駅周辺	28
No. 2 駅周辺	29
No. 3 駅周辺	30
No. 4 駅周辺	31
No. 5 駅周辺	32
沿線全体	33
IV. 資料編	34
1. ワークショップ通信	34
2. ワークショップに関するアンケート	36



I. はじめに

1. ワークショップの目的

市では、多摩都市モノレール延伸(箱根ヶ崎方面)計画が、令和4年10月に公表されたことを受け、公表された駅の位置を踏まえた沿線及び新駅周辺のまちづくりに関する検討を進めています。

まちづくりの検討にあたっては、はじめに目指すべきまちの将来像を明確にし、共有しておくことが重要であると考えていることから、まちの将来像等について話し合う市民ワークショップを開催しました。

2. ワークショップのプログラム

多摩都市モノレール延伸後におけるモノレール沿線及び新駅周辺のまちの将来像について、東地域、中央地域及び西地域の3つのグループに分かれて話し合い、意見を取りまとめます。

取りまとめた意見については、令和6年度に策定する予定である「(仮称)多摩都市モノレール沿線まちづくり方針(以下「まちづくり方針」という。))など、様々なまちづくりに関する計画等の参考にします。

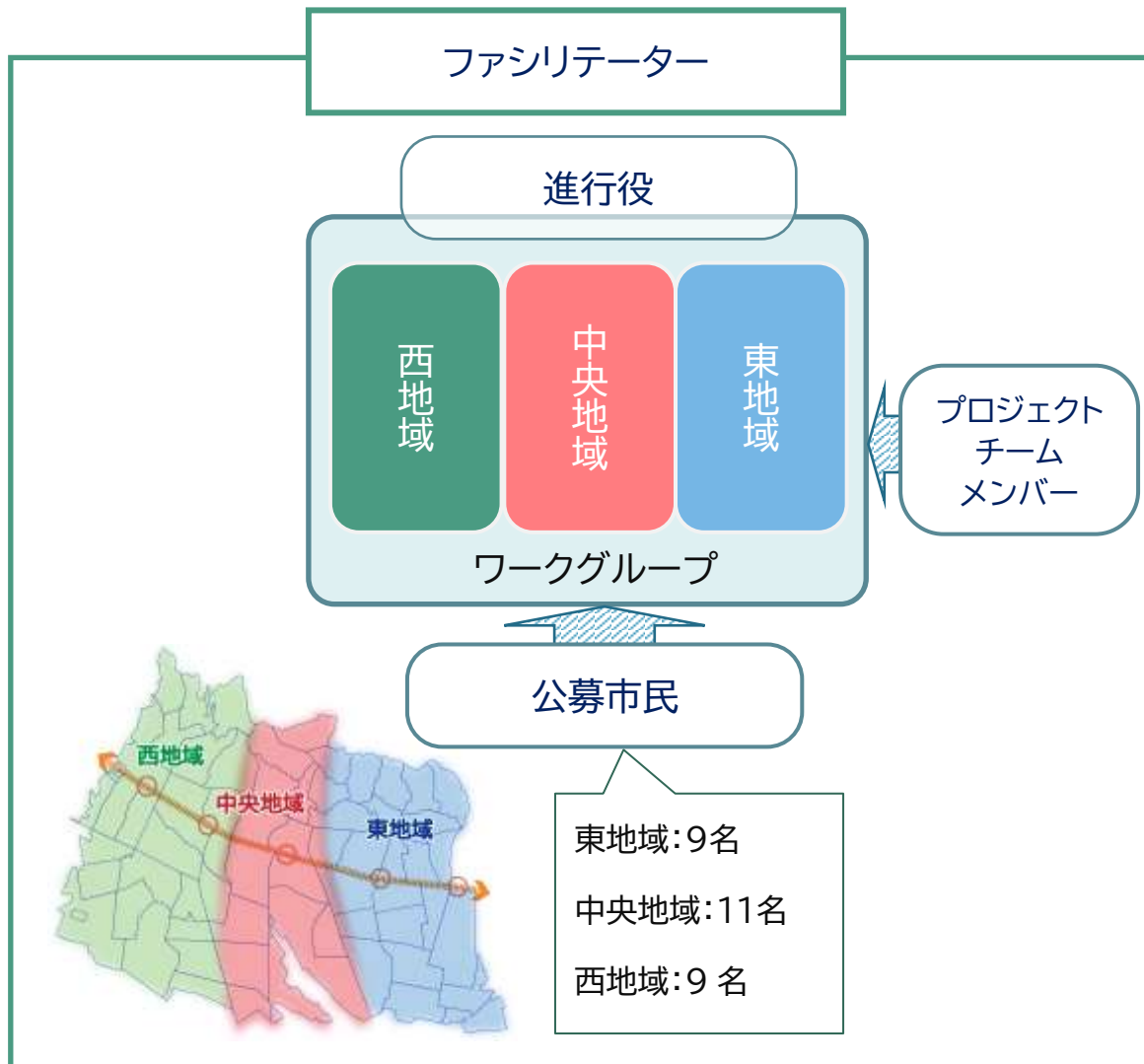
■各回のテーマと主な内容

回	日時	テーマ	進め方
第1回	令和5年 6月17日(土) 9:30~11:30	・地域の課題と魅力	・地域の気になるところや魅力などを出し合い、意見交換を行った。
第2回	令和5年 7月1日(土) 9:30~11:30	・まちづくりのテーマ ・各駅周辺の将来像	・各駅周辺のまちづくりで重視すべきまちづくりのテーマについて、取組やアイデアを出しながら話し合い、将来像につながるキーワードを出し合った。
第3回	令和5年 7月22日(土) 9:30~11:30	・各駅周辺の将来像 ・沿線全体の将来像	・第2回までの内容をふまえ、モノレール延伸時点における各駅周辺の将来像について意見交換を行った。 ・各駅周辺の将来イメージ図(ラフ案)について意見交換を行った。 ・最後に沿線全体の将来像について話し合った。

3. 運営体制

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」市民ワークショップは、東地域、中央地域及び西地域の3つのグループに分かれて、グループワークを行う方式をとりました。

ワークショップは参加者が対等な立場で議論できる環境をつくることが大切であるため、まちづくりの専門家である学識経験者が全体を取りまとめるファシリテーター※1となり、プログラムの作成、当日進行を行いました。また、各テーブルには進行役として市の職員を配置し、ワークショップが円滑に行える環境を整えました。さらに、市のプロジェクトチーム※2から、毎回各地域に2名ずつ参加しました。



※1 **ファシリテーター：大沢昌玄氏(日本大学理工学部土木工学科教授)**

日本大学理工学部土木工学科卒業後、住宅・都市整備公団(現独立行政法人都市再生機構)入社。
2016年より日本大学理工学部土木工学科教授に就任
専門は、都市計画、都市交通計画等、災害復興、土木史
本市では、「武蔵村山市第二次まちづくり基本方針」の策定に御協力いただいた。

※2 **プロジェクトチーム**

モノレール延伸後を見据えたまちづくりを様々な分野の視点から検討するため、市役所内の様々な課の係長以下の職員により構成されたチーム

Ⅱ. 開催結果

1. 第1回

第1回ワークショップの目標

- ワークショップの趣旨や多摩都市モノレールの延伸計画について理解する。
- 地域の魅力や課題について、意見を出し合い共有する。

(1) 資料説明【市】

市より、多摩都市モノレールの延伸計画及び延伸に向けた市の取組、市民ワークショップ開催の趣旨について説明しました。

(2) モノレール延伸を見据えたまちづくりについて【大沢教授】

ファシリテーターである日本大学大沢教授により「モノレール延伸を見据えたまちづくりについて」と題し、様々な視点から、都市と交通の関係などについて、事例を交えたお話しがありました。



(3) 意見交換

○自己紹介

3地域(東地域・中央地域・西地域)でグループになり、地域ごとに自己紹介の時間を設け、名前と住んでいる場所やワークショップに参加した経緯などをそれぞれ発表していただきました。



○意見交換

市全体や地域の「魅力」、「課題・気になるところ」、「こんなことができれば・あったらいいと思うもの」について、各自意見を付箋(魅力:青、課題:ピンク、希望:黄色)に書き込み、意見交換を行いました。



(4) 発表

地域ごとに意見のまとめを発表しました。全地域通じて、自然や緑、農地が多いことが魅力である反面、移動がしづらい、交流が少ないなどの意見が多くありました。駅ができることにより、魅力を活かした取組みや交流ができる場づくりを望む声が多くありました。

○東地域: No.1、No.2 駅周辺



魅力は自然が豊かでみかん畑や物産品、商店街がある。また医療施設が立地している。道路が狭くバリアフリーに課題がある。人口が多い地域だが、気軽に集まる場所や、交流できる場が少ない。送迎できる交通結節点や交流の場、農地の活用などができるとよい。



○中央地域: No.3 駅周辺



市の中心部にあり、駅前広場もできる。魅力はモノレールが近く道が広く便利。緑や果樹園なども多く、トンネルが涼しい、自然が多いことも魅力である。課題は、駅がなく交通の便が悪く交流がしにくい。歩道が狭く子どもの遊び場が少ない、北側のにぎわいが少ないなどがあげられた。駅前広場には道の駅、駅の近くに公園などがあるとよい。



○西地域: No.4、No.5 駅周辺



魅力としては、緑が多くみかん畑などもあり、子どもがのびのびしている。隠れ家的な店はとてもよい。課題は、交通の便や施設へのアクセスが悪い、公共施設の不足、交流の場が少ないなどである。駅名が重要なので、特徴を表すようなものをぜひ投票などで決めてほしい。



※駅名は仮称であるが、本報告書では「(仮称)」を省略して表記する。(例: (仮称)No. 1 駅⇒No. 1 駅)

(5) 講評【大沢教授】

「短い間に武蔵村山市の魅力やニーズを把握していただき、多くの意見が出された。地域のことをしっかりとみており、身近な問題としてとらえられていてとても良かった。まちづくりは背伸びをせずに身近な議論としてとらえることが重要であるが、今回は皆さんが自分ごとで考えており、地元でしか得られない情報交換ができた。まちが変わることを受け入れて、守りたいもの、欲しいもの、課題などを皆さんで共有できた。」とのお話がありました。

(6) 結果整理

1) 東地域 (No.1 駅 No.2 駅)

まちの魅力	まちの気になるところ
<ul style="list-style-type: none"> ■自然環境・景観 ・ 自然がある ・ 空気が良い ・ 緑、自然が多い ・ 水がおいしい ・ 野鳥が多く、鳴き声で目覚める ・ 開発されていない ・ 高い建物がなくて、自然がある ■地域資源 ・ 物産品(みかん・大島紬)たくさん ・ 公園が多い(大南公園、雷塚公園) ・ 空堀川が整備されて、きれいになっている ・ 犬の散歩がしやすい ・ 緑が多く、里山がある ・ 桜が美しい ・ 商店街があって、親しみがある ・ 医療系の施設が多くある 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域資源の維持 ・ 畑・果樹園を残してほしい ■にぎわいの不足 ・ 全世代別の居場所がない ・ 北側に人が集まりそうなところが少ない ・ 人とのつながりが少ない ・ 活気がない ・ 飲食店が少ない ・ 新青梅街道より北側に商業施設が少ない ■道路などの基盤 ・ 道路が狭い ・ 車イスの人が安心して一人で自走するのが困難である ■その他 ・ バス停や公園にゴミ袋がつるしてある
こんなことができたらいい、あったらいいと思うもの	
<ul style="list-style-type: none"> ■交流・居場所づくり ・ 各世代別に集うところ ・ ニーズに合った活動ができる場(お茶・本・カラオケ・プール・おしゃべり・バンドなど) ・ 不登校の子どもがふらっと立ち寄れる場所 ・ 小金井公園のような多世代が活躍できるところ(子どもたちは遊び、シニアは見守るスタッフ) ・ ミニ公園、図書館、コンビニ ・ 道の駅のような農産物・手作り品・販売所があり、青梅街道を通る車の人も休める場 ・ 食べ歩きのできる場所(地域ブランド販売店など) ・ 森をイメージした公園、サマーランドやスパリゾートみたいな遊び場 ■その他 ・ 駅ができれば民間が開発するので逆に監視しないといけない 	<ul style="list-style-type: none"> ■駅前空間、駅周辺の整備 ・ 【駅前】送り迎えができる駐車スペースがあるとよい。駐輪スペースは、重要！ ・ 駅前ロータリー・広場に緑(木)があるのはいいが、管理をしっかり続けられるようにしないと迷惑につながる ・ 駅前に人が集まれる、しごとができるフリースペースをつくり、誰でも気軽に立ち寄れる場所がほしい(無料) ・ 駅前直通のホテル、レストランがほしい ■地域資源の活用 ・ 駅前で野菜・物産品の朝市を定期的開催してほしい ・ 里山の魅力を伝えて、外国人を呼び込む ・ 農地を活用し、市外の方が集まれる場所ができるといい ・ 沿線の大学や高校との連携(中大・音大・東経大・瑞穂農芸) ・ コミュニティガーデンや農園(緑を残す、木を切らない)多世代交流ができる ・ 野山北公園でグランピング

2) 中央地域 (No.3 駅)

まちの魅力	まちの気になるところ
<p>■自然環境・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊か ・ 緑が多い(3) ・ 田、畑、果樹畑があり自然が多く緑に囲まれている ・ 散歩すると気持ちがいい <p>■地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イオンモールが近い ・ イオン周辺の道路が広い、買物が便利 ・ トンネルが涼しい ・ トンネル(横田他)、駅からは少し遠いですが ・ 北側にある緑の多い野山北公園があり、温泉施設もある ・ 公園がある ・ 農産品が多くできる ・ 駅前広場ができる 	<p>■地域資源の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔の良いところを活かしてほしい ・ 名物の“かてうどん”の店へのアクセスが悪い <p>■アクセス面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一番近い駅へのバスがほしい(武蔵砂川駅) ・ 交通の便が悪い(2) <p>■にぎわいの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場が少ない ・ 人が交流しにくい ・ 人とのつながりが少ない ・ お店が少ない ・ 北側に買い物ができる場所が少ない ・ リソな銀行から北側にお店がない <p>■道路などの基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道が狭い(2) ・ 道路幅員が狭い ・ 渋滞が多い
<p>こんなことができたらいい、あったらいいと思うもの</p>	
<p>■交流・居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前交流空間(イベント、マルシェ、フリマ) ・ 使いやすいおしゃれな図書館&スペース、水遊びができる公園 ・ モノレールの駅(仮称 No. 3)に近い場所に市民が楽しめる公園 ・ 駅前子育て支援 ・ 仮設店舗による起業店育成 ・ 人とのコミュニティができる施設があればいいと思う ・ 駅周辺には、コンビニ・交番・カフェ・図書館等ほしい ・ No.3 駅前からの道沿い 道の駅(特産品:梨) ・ ウォーキングしながらのカフェ 	<p>■駅前空間、駅周辺の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通が東西南北に広がってほしい ・ 榎3丁目 東西軸のトランジットモール化 一般通過交通抑制 ・ 野山北、狭山丘陵をつなぐ公園駅、駅前緑空間 ・ イオンモールの北側(モノレール側)から入れるようにしたい ・ わざわざ降りて、歩いて楽しめる駅 ・ 駅内に行政コーナーが欲しい <p>■地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産緑地活用、農業レストラン、サラダ館 ・ トンネルをいかしたイベント ・ 農産品を売れるようにする ・ 村山特産品、歴史を売り込みたい

3) 西地域 (No.4 駅 No.5 駅)

まちの魅力	まちの気になるところ
<p>■自然環境・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑が多い(3) ・ 自然が豊か(山王森公園・里山民家・狭山丘陵) <p>■地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のんびりとしたやさしい気質の子ども達が多い ・ 子どもが純粋 ・ 中原の中でグリーンタウンはまとまっていると思う ・ 中原地区元気プロジェクト(地域コミュニティ) ・ 住宅と住宅の間が広くとれている <p>■地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧青梅街道沿いの神社仏閣 ・ 魅力的な散歩道が多い ・ みかん畑とそこから見る風景 ・ 通称水道道路の桜・木々がすばらしい ・ 歴史がある ・ 広大な農地がある、多摩開墾がある ・ 桜並木を活用してほしい ・ 隠れ家的なお店が多い、お家カフェなど ・ おいしいケーキ屋さんがある。 ・ 緑歩道を活かして第3の居場所を創る 	<p>■道路などの基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道が狭い(3)(江戸街道、旧青梅街道等) ・ 村山高校の周辺の自転車量が多すぎる <p>■アクセス面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電車に乗れない ・交通の便が悪い ・ 交通が不便、MM シャトルがなくなった ・ 中原の端は昭島駅行きのバスしかない雨の日困る <p>■公共施設の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西地域には、公共施設がすごく少ない(2) ・ 中央図書館がない ・ 図書館等の公的施設が古い、アキシマエンシスがうらやましい! ・ かたくりの湯が閉館してしまった(2) <p>■にぎわいの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くつろげる魅力的なお店が少ない ・ 魅力的なお店が少ない ・ ゆっくり食事できる場所が少ない ・ 公共施設を多目的使用に <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが多い ・ 高校生が集まった時の治安について ・ 閉鎖的 ・ 閉鎖的な地域で育っているので外に出ていけない
<p>こんなことができたらいい、あったらいいと思うもの</p>	
<p>■新駅のアイディア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心駅の名前を武蔵村山市駅にして欲しい ・ 5駅それぞれの駅を独自の特色ある駅にしたい ・ 駅名は重要なので、十分に住民の声を聞いてほしい!(投票とか) ・ どこかの駅にイオンモールへの無料往復バスを走行させる <p>■駅前空間、駅周辺の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場に時間を費やせる施設・店等がほしい! ・ 駅内にサロンを作る ・ 駅内にでいだらの山車を飾る ・ 西地域の駅(No.5)に駅前広場をぜひ! <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モノレールの料金が高くないように! ・ 子どもの意見尊重 ・ 防災対策 	<p>■交流・居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもからお年寄りまで多世代が交流できるスペースがほしい ・ 子どもたちのサードプレイス ・ 障がい者の集う拠点づくりと活動チャンスを創る!! ・ 国際交流のチャンス、難民や留学生、モンゴル友好都市だから ・ 文化施設(博物館や科学館等)がほしい ・ 図書館創り、内容の充実、来館者たちのサークル活動(読書)(東大和市の様に) ・ 中央図書館がほしい ・ 花が咲き乱れる公園 ・ 野山北公園周辺にプールが欲しい <p>■地域資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩開墾を活用して、多くの人に触れ合える広大な市民農園にして欲しい ・ 残堀川を活かすものを!(いつも水がながれるように貯水槽を作る) ・ 西方面の駅に横田基地、飛来の飛行機を見るスポットを作る ・ 自然の豊かさを利用した道の駅(野菜の販売等)

4) その他の意見

市内の2か所の施設に模造紙を掲示し、来訪者の意見を収集しました。

まちの魅力	まちの気になるところ
<p>■自然環境・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静かなところ ・ 緑が多い、緑(草・木)が多い ・ 畑が多い ・ 広い公園がある ・ のどか ・ 空気がきれい <p>■地域性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい市だけれど笑顔がいっぱい ・ みんな仲良く遊んだり笑顔になるところがいい ・ みんなけんかもするけどすぐ仲直りするのがいい ・ 駅がないところ ・ すみやすい ・ 人が温かい ・ のんびりしている ・ 静か ・ 意外と買い物便利 ・ 畑のそばで採れたて野菜を売る農家さんが多い <p>■地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鴨や鷺が住める残堀川 ・ 里山民家のホテル ・ 桜の綺麗な遊歩道 	<p>■アクセス面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土日の渋滞 ・ MMシャトル復活して(出かけられません) ・ バスがない、移動がしにくい <p>■にぎわいの不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ものづくりカフェを大きくしてほしい ・ 店の食材がもっと多くなるといい ・ くつろぐところがない ・ 公園が少ない(中央地域) ・ 商業施設が少ない(個人店も含め) ・ お祭り等イベントに行くと、他の地域に比べ若干クオリティが劣るように感じる <p>■安全・安心面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街に活気が少ない、人通りが少ない ・ 夜に出歩く人が少ないので治安が気になる <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに関する支援が少ない ・ きらいなところがない
<p>こんなことができたらいい、あったらいいと思うもの</p>	
<p>■交流・居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもからおじいさん、おばあさんも関係なく楽しめる ・ 集会所や自治会館などの拠点 ・ 駅の外に子どもでも大人でもすわれるベンチがほしい ・ 市民がつどう場所(レジャー施設など) ・ いろいろな公園があったらいい(長い滑り台やターザンロープがほしい) ・ ミツ藤の朝市や中原元気フェスタのような地域活性の催しを応援する取組 <p>■移動手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 武蔵村山市の西から東をつなぐバスが欲しい。15年も待てません! ・ 野山北公園に道路を作ってほしい(移動が楽) 	<p>■駅前空間、駅周辺の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シンボルになる建物(木を使う) ・ 道の駅がほしい。もっと八王子市みたいに商業が盛んになる ・ 街に活気が出るよう、居酒屋などの飲食店が欲しい ・ 道の駅のような場が欲しい ・ 少し高価な食材を扱っている場が欲しい ・ 駅の周辺に東側に負けないようなミニ商店街があればもっと住みやすいだろうな <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵が武蔵村山の有名キャラがいい ・ ムーライオン ・ 絵をミニオンズにしてほしい ・ 村山をテレビに出したい ・ ものづくりカフェをテレビで魅力を配信したい

2. 第2回

第2回ワークショップの目標

- 前回出された課題、魅力に対応する形で、駅ごとに取り組むべきことや改善策などを考える。
- それぞれの駅周辺において、取組や改善をすることにより将来どのようなまちになるとよいか、各駅の特徴をいかした、各駅で特に重要だと思うテーマやキーワードを考える。

(1) ワークショップの報告書等について【市】

市民ワークショップでの意見については「市民ワークショップ報告書」としてとりまとめ、さらに、地域の現況、モノレール沿線まちづくり構想などの上位計画、SDGsなどの社会動向や、多摩都市モノレール沿線まちづくりに関するアンケート調査報告書及び市民ワークショップの結果等を踏まえ、令和6年度に「まちづくり方針」を作成することを説明しました。

(2) 今回のテーマ・目標について【大沢教授】

第1回目の意見も踏まえつつ、今回は「駅周辺」に着目して意見交換をすることを説明しました。

(3) 意見交換

○各駅周辺のまちづくりにおける取組アイデア

それぞれの駅周辺において、地域や駅周辺の魅力を活かすために取り組むべきこと、課題を解決するために取り組むべきことは何があるかなど、付箋に書き込み意見交換をしました。



○各駅周辺の将来像(テーマ、キーワード)

取組や改善をすることにより、将来どのようなまちになるとよいか、各駅の特徴を活かした、各駅で特に重要だと思うテーマやキーワードについて意見交換をし、整理しました。



(4) 発表

駅ごとに特徴のある取組のアイデアや、その駅ならではの地域性や魅力を存分に活かしたキーワードが出されました。No.3 駅では、ワークショップ参加者の方が製作した模型も活用しながら発表しました。ONo.1駅周辺



No.1 駅は市の玄関口となるので、それを活かした取組や商業の活性化などが必要。集まりたくなる、過ごしたくなる場の創設や、都営団地の活用、バスルートの再編などが必要である。

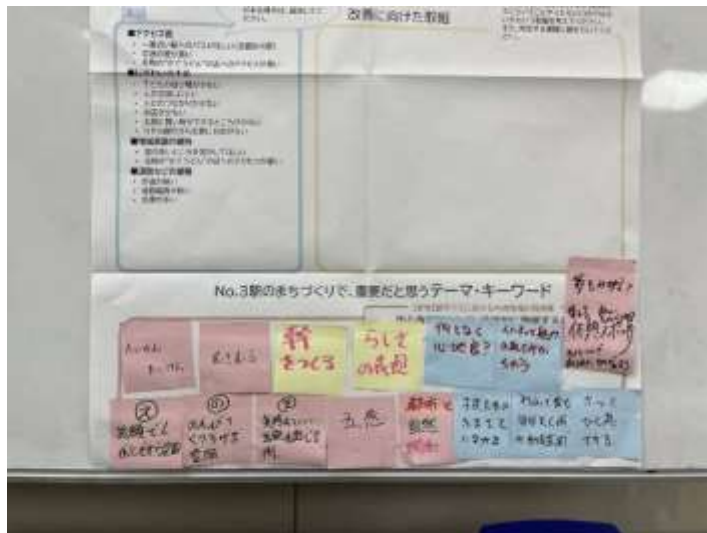
No.2 駅は、農地がたくさんあるので、それを活用できるとよい。収穫して食べる、飲む、収穫したものの食べ方を教えるなどできるとよい。おせっかいが人をつなぐ場であり、時間を費やしたくなる場所となるとよい。



ONo.2 駅周辺



ONo.3 駅周辺





No.3 駅からのストーリー、駅から武蔵村山を見せる！
 駅のデザインとして、例えば公園駅のようにし、くつろげる空間が各所にある、「ひと」のための駅前広場、観光の発着点としたい。
 駅を降りて、ホテルや図書館、公共施設があるとよい、農地の活用などもできるとよい。
 まちを育てる仕組みが重要であり、まちの「幹」をつくる、らしさをつくる、また、来た人に魅力を発見してもらうこともよいのではないかな。



○No.4駅周辺



No.4 駅は、自転車道と桜並木があり、桜並木を活かした空間づくり、例えば朝市ストリートや、駅から自転車道までの空間をうまく作る。
 自転車道のリニューアルや、自転車道には休める空間も必要である。
 No.4 駅は「桜」が最大のポイントである。



No.5 駅は、武蔵村山高校や大規模農地の多摩開墾がある地域である。残堀川の親水空間を活かし、若者の活動を見ること(屋外ステージなど)ができる場の創出ができるとよい。
 モノレールから里山を眺めることができるとよい。
 生活の場の確保は重要である。

○No.5駅周辺



(5) 講評【大沢教授】

ファシリテーターの大沢先生より、まちづくりは、

- ・ 目的や人々の活動を想定することが重要であること
 - ・ モノレールを契機とした「まちづくり」について議論していること
 - ・ わざわざ行きたくなるまちにするにはどうすればよいか考える必要があること
- などをお話いただきました。

また、今回も意見交換が活発で、魅力的なアイデアやキーワードがまとめられたとのコメントをいただきました。

(6) 結果整理

1) No.1 駅

No.1 駅周辺の魅力・課題 武蔵村山の玄関口／村山団地、商店街がある／村山うどん／道路が狭い／にぎわいの不足	
魅力を活かす 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■市の玄関口 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「武蔵村山の玄関口」市外から訪れた人に向けて“ようこそ”と PR ・ 市の特産品販売や案内所を設置 ・ 長距離の散歩、自転車通行のできる空間が欲しい ・ 東大和警察署の駐車を広く ■商店街の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 団地西通りに一直線に並ぶ商店を生かした取り組み ・ スタンプラリーの実施 ・ 新しいお店が出来て欲しい
課題を改善する 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■道路などの基盤が弱い <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩きやすい歩道 ・ 団地から No.1 駅までバスで行けるといい ■にぎわいの不足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 村山うどんの店を増やす ・ 駐輪スペースの整備 ・ 買物しやすいようにパーキングメーターがあるといい ・ ミニストップは椅子もあって中学生が集まれる ■地域資源の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅名を名産品の名前にする：みかん駅・狭山茶駅・うどん駅
No.1 駅のまちづくりで、重要だと思うテーマ・キーワード 武蔵村山の玄関口／高齢者が生き生きできる	

2) No.2 駅

No.2駅周辺の魅力・課題 医療系の施設が多い／畑が多い／大学生がいる／道路が狭い／交流の場が少ない	
魅力を活かす 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■農の活用 ・ホームセンターが近くにあるので、気軽に農作物を作ることができる。 ・作った野菜をすぐに調理できて、みんなで食べられる場 ・みかん狩り、いちご狩り、ブルーベリー狩りなどができる ・畑の活用、農業体験 ■医療施設・大学などの立地活用 ・日中はコミュニティの場(シニア～子ども)、夜は仕事終わりや学生の場所 ・色々な世代が使えるおしゃれな居場所(カフェ・図書館) ・大学生の力を借りて、ユーモアある(店、バンドなど)場所を作る ・「医療・福祉の拠点」病院や子育てを中心としたコミュニティ広場、スペースを設置 ・夜遅くまでやっているお店 ・札の辻スクエアのような図書館、コンビニのあるスペース、建物が欲しい ・中砂新道(南北通り)の沿道にお店を増やす
課題を改善する 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■道路など基盤の向上 ・医療施設までのアクセス(車寄せなど) 歩いていくのは大変 ・村山医療センター、お伊勢の森へのアクセスポイントとしてバリアフリー等(歩道の凸凹や幅) ・駐輪スペースの整備 ・使いやすいバスのネットワーク 本数も増やす ・シェアサイクルで北側にも行きやすく ・大学通りの道中が狭く見通しが悪い ■居場所づくり ・待ち合わせをする室内の場 ・空き地の活用 ・駅直結の商業施設 スーパー、ドラッグストア、コンビニを作る
No.2駅のまちづくりで、重要だと思うテーマ・キーワード おせっかいがつなぐ場／住みたくなるまち／夜になっても明るいまち(ところ) 国際交流、多文化共生のできる広場がほしい／海外の子女が学べる小中学校があるといい	

3) No.3 駅

No.3駅周辺の魅力・課題	
駅前広場ができる／イオンがある／田畑、果樹園がある／北側のにぎわい不足／道路幅員、歩道が狭い	
魅力を活かす 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■農業 ・ 地元食材を使った駅弁 ・ 地元の名産 ex)野菜、お茶を買えるところ ・ 観光農園を作る・農業交流、加工拠点 ・ みどりっ子を駅前に出店 ・ 姉妹都市栄村の特産品の入店(りんご・お茶・野沢菜・トマト等) ■交流・くつろぎの空間 ・ かたくりの湯を再開 ・ 大きな公園、遊具が充実した公園 ・ 集える場、例えばイベント広場などを作る ・ 子どもと遊べて楽しめる場所として民間とコラボした施設 ・ 特徴ある広場 ・ レンタルキッチン、プロスポーツチームを応援できる ・ ペットとくつろげる ・ ○○教育や体験の場 ■にぎわい ・ 個性のある店へのPR ・ 気軽に行ける個人店 ・ 駅前のマルシェに参加する仕組みづくり ■駅、駅前空間 ・ 駅舎、狭山丘陵をイメージできるデザイン ・ モノレールができた記念としての鉄道公園 ・ 西武ドームへのアクセス ・ 自転車を乗せることができるバス ・ 新しい交通網、スマートモビリティ
課題を改善する 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■交通ネットワーク ・ 駅からのバス路線 駅→野山北公園、冒険公園、カタクリ温泉への専用バス ・ イオンモールの他、文明堂直売店、天乃屋直売店があり、買い物のアクセス ・ 観光シャトル ・ 市民会館、資料館へのアクセス ・ 駅の場所と信号の位置、歩道の整備、駐車場 ・ 犬と歩ける道 ■施設 ・ 市役所関連の地区 商業地域を特化し、団地、区割を決めて進めたい ・ 大きな図書館の入った複合施設が欲しい ・ 宿泊施設、学校(大学・専門学校)、企業の誘致 ・ 工業地帯で工業見学、社会科見学 ・ 図書館の本を返せるポストが欲しい ■体制づくり ・ 歴史・伝統ふれられる場 ワークショップ ・ 地域で街を育てる地域、市民意識の醸成

	<ul style="list-style-type: none"> ・街を地域で維持管理する体制、仕組みづくり ・クリーンアップ清掃、歩道の花植え ・何度も訪れたいくなるようなものがない ・飲み屋が少ない
<p>No.3駅のまちづくりで、重要だと思うテーマ・キーワード</p> <p>体感体験／何となく心地よい？／五感／都市と自然、調和／らしさの表現 人によって魅力の感じ方が違う／ホッと一息できる／むさむら／幹を作る 夢を見つける？／集える、新しいものが生まれる休憩スポット モノレールで新たな人・ものが出会う／子どもたちのふるさとになれる 村山で育ち、羽ばたく前の助走空間</p> <p>【え】笑顔で人がにぎわう空間【の】のんびりくつろげる空間【き】気持ちいい五感を感じる街</p>	

4) No.4 駅

<p>No.4駅周辺の魅力・課題</p> <p>緑が多い／桜並木がある／野山北公園自転車道／お店が少ない／公共施設が不足</p>	
<p>魅力を活かす 取組・アイデア</p>	<p>■桜並木や自転車道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車、サイクリングの休憩所として(中間地点)、人を呼ぶ ・No.4st 野山北公園自転車を活かした魅力づくり、朝市ストリートにする ・桜並木を活かしたい <p>■全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての駅に駅間のシャトルバス(イオンモール⇄ジョイフル本田)(無料バス)
<p>課題を改善する 取組・アイデア</p>	<p>■にぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場に喫茶店を！(時間をつぶせるような) ・駅前広場に飲食店を！(気軽に入れる) ・駅前広場には、周りに座れて、浅い水の中に入れる噴水を ・西側はお店が少ないので、魅力あるお店を誘致する <p>■自転車道の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野山北公園自転車道を区分けして、団体や企業名を冠にしたストリートにして、魅力UPにつなげる
<p>No.4駅のまちづくりで、重要だと思うテーマ・キーワード</p> <p>「桜」の漢字を使う／緑(桜)と集おう／桜並木の朝市ストリート 桜並木／桜並木を活かした駅名／No.4 駅は「桜並木」に近い駅</p>	

5) No.5 駅

No.5駅周辺の魅力・課題 自然が豊か／地域資源が多い／子どもや高校生が多い／多摩開墾がある／交通不便地域	
魅力を活かす 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■学生の活力 ・屋外ステージなど、ライブの施設を作りたい ・No.5 都立高校が近いので、学生が楽しめる施設があると良い ・学生を育てる街 ・学生(高校生)のための駅 ■魅力向上 ・No.5 に絶対に駅前広場を！ ・街めぐり MAP で地域内外に魅力を発信 ・桜祭りのスタート駅 村山大仏、風車→エコ ・飛行機を観るスポットをつくる ・残堀川で水遊びができるような公園を ■里山や桜並木、自転車道、体育館などがある ・里山民家ホテルツアー ・野山北公園歩行道に休憩所や喫茶店を！ ・No.5 から里山までの間に自然を生かした魅力的なカフェ、レストランがあるとよい ・体育館までのウォーキングロードを作る(4駅～5駅)
課題を改善する 取組・アイデア	<ul style="list-style-type: none"> ■10年後の人口増を見据えて ・10年先は西部は人口増加。それに対応するものを！人が集まる場等 ・緑を眺めながら、ゆっくり過ごせる場所(カフェ・図書館) ・西部には病院が少ないので、複合病院棟を！（各医者が資金出し） ・駐輪場の整備(学生が多い) ■河川の有効活用 ・残堀川まつりを開催する ・残堀川をいつも水が流れるように貯水槽を作る ・残堀川を魅力ある親水広場にして整備する ■農地や緑の保全・活用 ・緑を眺めながら、ゆっくり過ごせる場所(カフェ・図書館) ・多摩開墾に多くの人が集う巨大市民農園を作る ・上北台から箱根ヶ崎までモノレールの高い位置から右手に見える狭山丘陵の景色を堪能し、No.5 駅下車して里山民家へ。そこから六道山公園へ或いは東へ向かってモノレールから見た景色を実際に歩いてみる ・南北の道路が広いと良い
<p>No.5駅のまちづくりで、重要だと思うテーマ・キーワード</p> <p>大人になった時、帰ってきたいと思えるまち／子ども次世代指向／学生や子ども No.5 駅若者も集う(イベント、噴水)／No.5 駅「里山駅」里山民家、学生(高校生)が集える 多摩開墾、巨大市民農園／里山の自然とおしゃれなカフェ／里山推し 南口は残堀川、北口は里山残堀川と里山で遊ぼう！／里山と残堀川の自然と憩う</p>	

3. 第3回

第3回ワークショップの目標

- これまで意見交換をしてきた内容をふまえ、各駅周辺の将来像・キャッチフレーズを考える。
- 各駅周辺の将来イメージ図の案について、追加の内容や修正箇所などを確認する。
- 新駅周辺全体において、将来どのようなまちになるとよいか、市全体のイメージと各駅周辺のイメージを踏まえてテーマやキーワードを考える。

(1) 各駅周辺の将来イメージ等について【市】

第1回、第2回の結果を踏まえて作成した各駅周辺の将来イメージ図(案)について説明しました。各駅の周辺において、主に市民がどのような活動や過ごし方ができるか、イラストで示しています。

(2) 意見交換の流れについて【大沢教授】

今回は「駅周辺」の将来像と、「新駅周辺全体」の将来像について意見交換を行うことや、それぞれの意見交換の流れについて説明しました。



(3) 意見交換 (その1)

○各駅周辺の将来像・キャッチフレーズ

各駅周辺の将来像・キャッチフレーズについて意見交換しました。

○各駅周辺の将来イメージ図(案)について

将来像・キャッチフレーズを踏まえて、各駅の将来イメージ図(案)について意見交換しました。新たな取組や、図の修正などを付箋に書いて貼り、必要に応じて図に直接書き込みました。



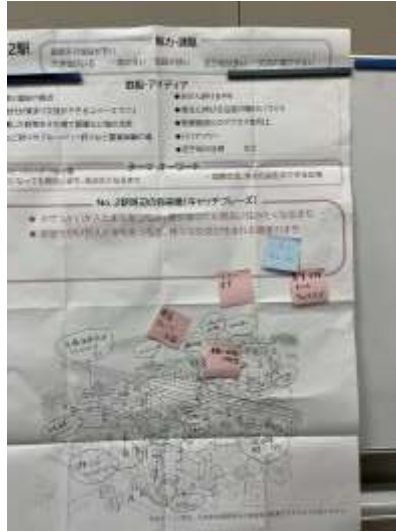
(4) 発表 (その1)

駅ごとの将来像については、各駅周辺の特徴や魅力を踏まえたワードが出されました。将来イメージについては、駅周辺の魅力を引き出すキーワードが多く出されました。

○No.1駅周辺



○No.2駅周辺



No.1 駅は、市の入口であり玄関である。市作成案のコンセプトは長い。「武蔵村山」の名は長いが外せない。ひまわりガーデンのように、目玉となるもの、例えば屋内遊戯施設やBBQができる場などがほしい。

No.2 駅は、イメージが難しいが、北側の農業との関連は重要である。「おせっかい」というワードは様々な捉え方があるが、ぜひ残してほしい。



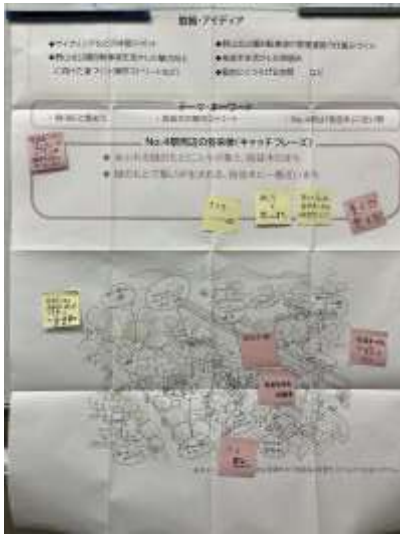
○No.3駅周辺



No.3 駅は、モノレールの駅を降りると公園広場があるとよい。また、歩車分離をした道路があること。宿泊施設や居酒屋、趣味の店など、多様な交流ができることが重要である。駅からイオンまでのアクセス空間に様々な店舗や居場所をつくり、歩きたくなり、途中で休憩もできるような豊かな空間づくりができるとよい。狭山丘陵まで歩いて行けるように歩いて動けるまちづくりを進める。キャッチフレーズとしては、人と自然のクロスポイント、つなぐ、紡ぐなどがよい。



○No.4駅周辺



○No.5駅周辺



No.4駅は、桜並木や自然を活かした
ワードは外せない。
西地域は交通不便な地域なのでバス
は必ず入れてほしい。さらに駅前駐車
場や駐輪場も必須。

No.5駅は、自然が豊かであり、学生
を育てられるようなフーズが重要。
居住者が多いので、古い蔵を活かし
た蔵カフェや図書館、野外ステージな
どで多世代交流ができるとよい。



(5) 意見交換 (その2)

○沿線全体の将来像

新駅周辺全体において、将来どのようなまちになるとよいか、市全体のイメージや各駅周辺のイメージを踏まえてテーマやキーワードについて意見交換をしました。



(6) 発表 (その2)

沿線全体の将来像については、駅でつながることまちの魅力を感じてほしい、30年後に向けて文化を創造していきたい、わくわくするようなまちになるとよいなどの意見がありました。

○東地域



主に、「駅ができて武蔵村山市らしくしてほしい」「30年後に文化が生まれるまち」「狭山丘陵や里山の景色が楽しめるまち」などの意見があった。



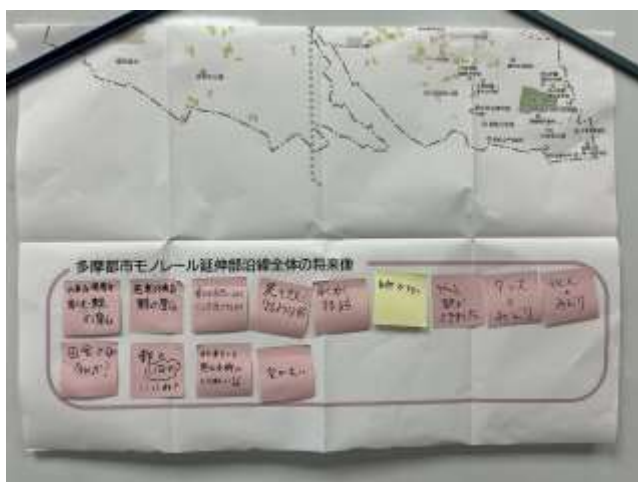
○中央地域



主に、「駅まちぶらで沿線地域の魅力を発見」「なんとなくこちよいまち」「沿線地域をみんなで育てていく」「つながっていく駅」などの意見があった。



○西地域



主に、「元気な若者を育む東京の田舎」「また来たい、戻りたいと思えるまち」「わくわくするまち」などの意見があった。



(7) 講評【大沢教授】

ファシリテーターの大沢先生からは、「夢を語る場は計画を作る上ではとても重要であり、今回のワークショップでは夢や理想が多く出た。これで市では計画を作る素地ができたので実行に向けて進め、成功のあとは文化を皆さんで育てていくことになる。今後は動向を見守るだけでなく、市民参加の場面があればぜひご参加いただきたい。」とのお話がありました。

(8) 結果整理

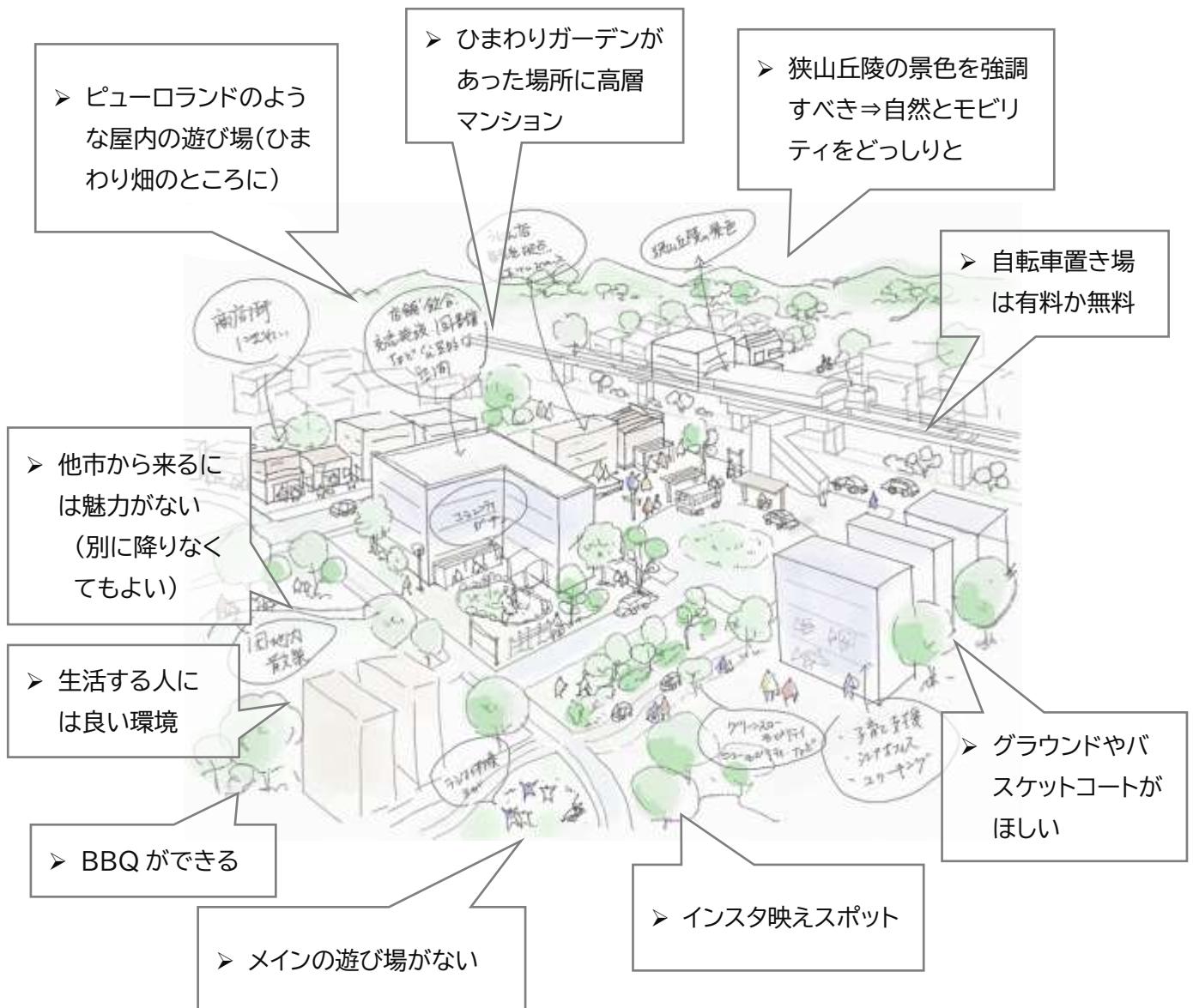
1) No. 1 駅周辺

No.1 駅周辺の将来像(キャッチフレーズ)

前回の意見を
とりまとめた案

「多世代が生き生き暮らす武蔵村山の玄関口」
「ようこそ 多くの人を訪れにぎわう武蔵村山の玄関口」

あの武蔵村山の玄関口/駅名を「武蔵村山」
武蔵村山は長いのでキャッチフレーズには不向き



将来イメージ図(案)に対する意見

2) No. 2 駅周辺

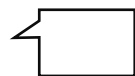
前回の意見を
とりまとめた案

No.2駅周辺の将来像(キャッチフレーズ)

おせっかいが人とまちをつなぐ、
夜になっても明るい住みたくなるまち
おせっかいが人とまちをつなぎ、様々な交流が生まれる健康のまち

健康フルーツ王国／元気で農業／終電まで明るいまち
農業体験推しのキャッチフレーズ

▶ 景観に配慮した土地利用



将来イメージ図(案)に対する意見

3) No. 3 駅周辺

前回の意見を
とりまとめた案

No.3駅周辺の将来像(キャッチフレーズ)

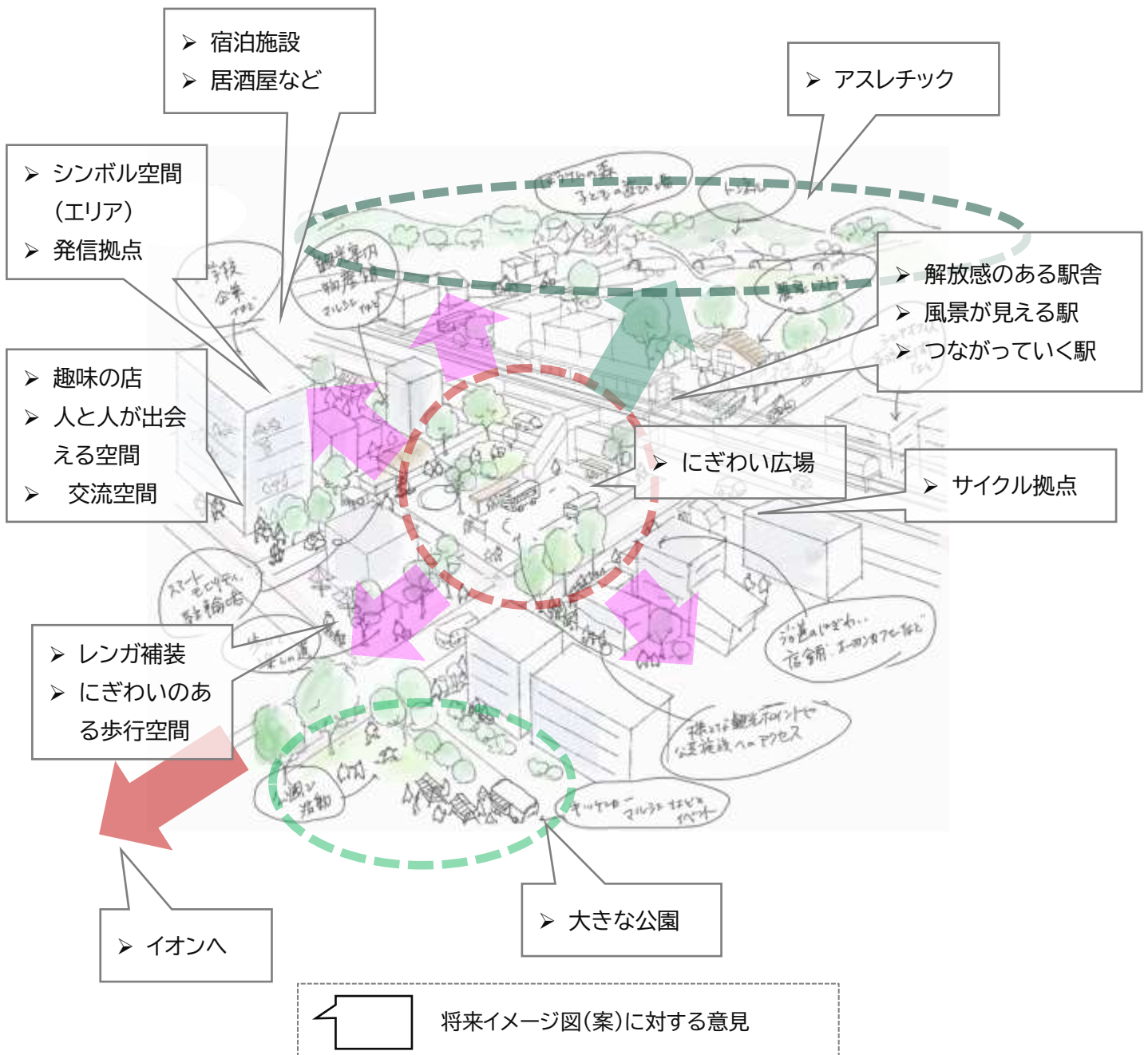
都市と自然が調和し、新たな人・ものが出会う心地よいまち
都市と自然が共存し、五感で感じる心地よさが自慢なみんなのふるさと

人と空間(うまい言い方を)／来た人がまた行きたい／ウォーカブル(歩いて楽しい)

市全体の発信地／拠点・回遊性／子育てがしやすいまち

人と自然のクロスポイント／クロスポイントえのき／シンボリックな空間づくり

ここから始まり、つながり、広がっていく／人と自然がつながる街／生産緑地たくさん！



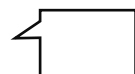
4) No. 4 駅周辺

No.4駅周辺の将来像(キャッチフレーズ)

前回の意見を
とりまとめた案

あふれる緑のもとに人々が集う、桜並木のまち
緑のもとで集いが生まれる、桜並木に一番近いまち

さくらしいね/みどりと花のまち/集える!!憩える!!



将来イメージ図(案)に対する意見

5) No. 5 駅周辺

前回の意見を
とりまとめた案

No.5駅周辺の将来像(キャッチフレーズ)

里山の緑と水と農地が人と活動をつなぎ、
笑顔あふれる元気なまち

里山の緑や農地が育む、川のせせらぎと元気な声がきこえる笑顔のまち

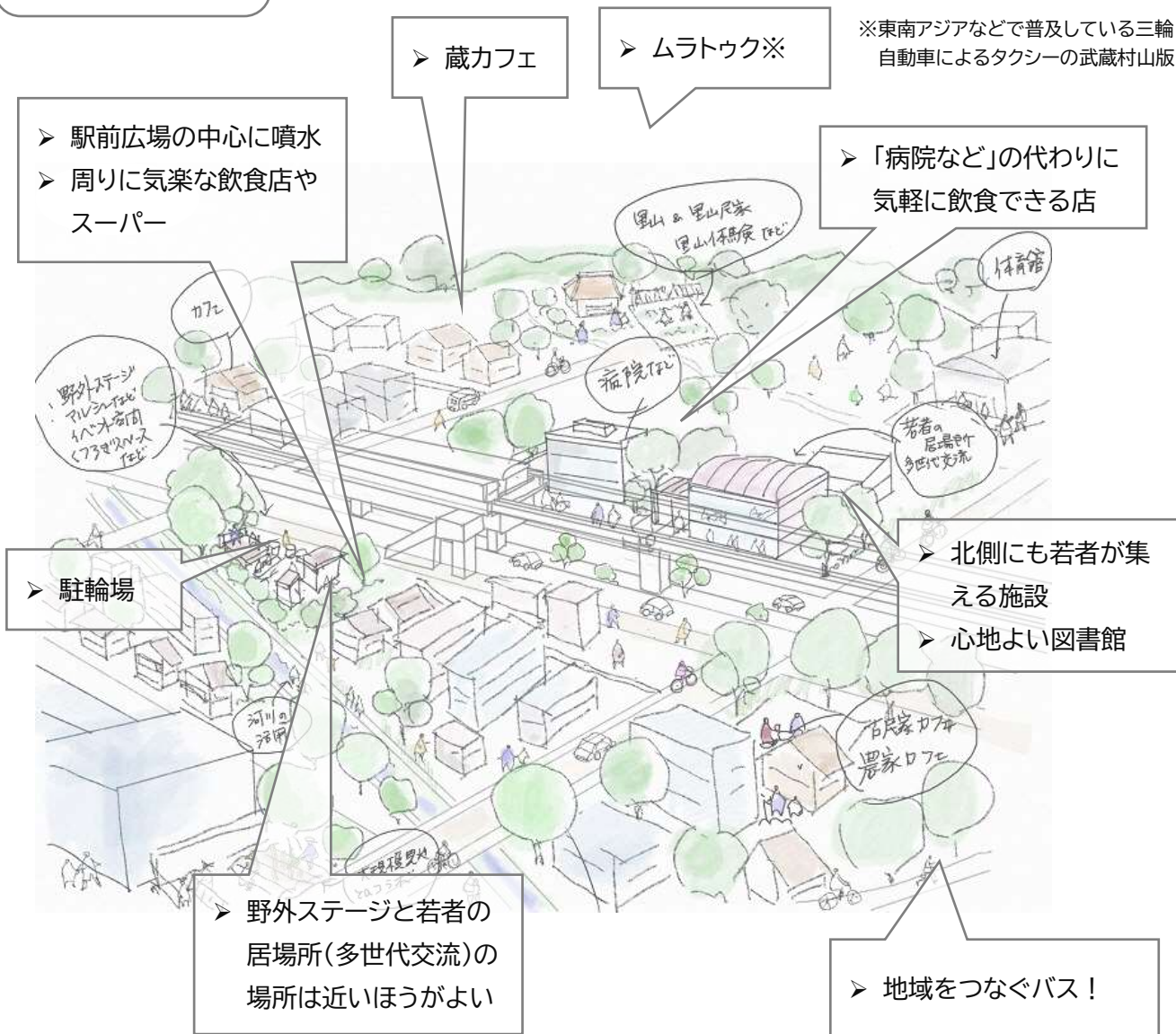
里山の緑と農地と川のせせらぎに憩う笑顔あふれる元気なまち／人と自然の共生

自然に触れ、世代を越えて集えるまち／ここで生まれここで生きる

北は里山民家 南は多摩開墾／何もないけど緑がたくさんあります

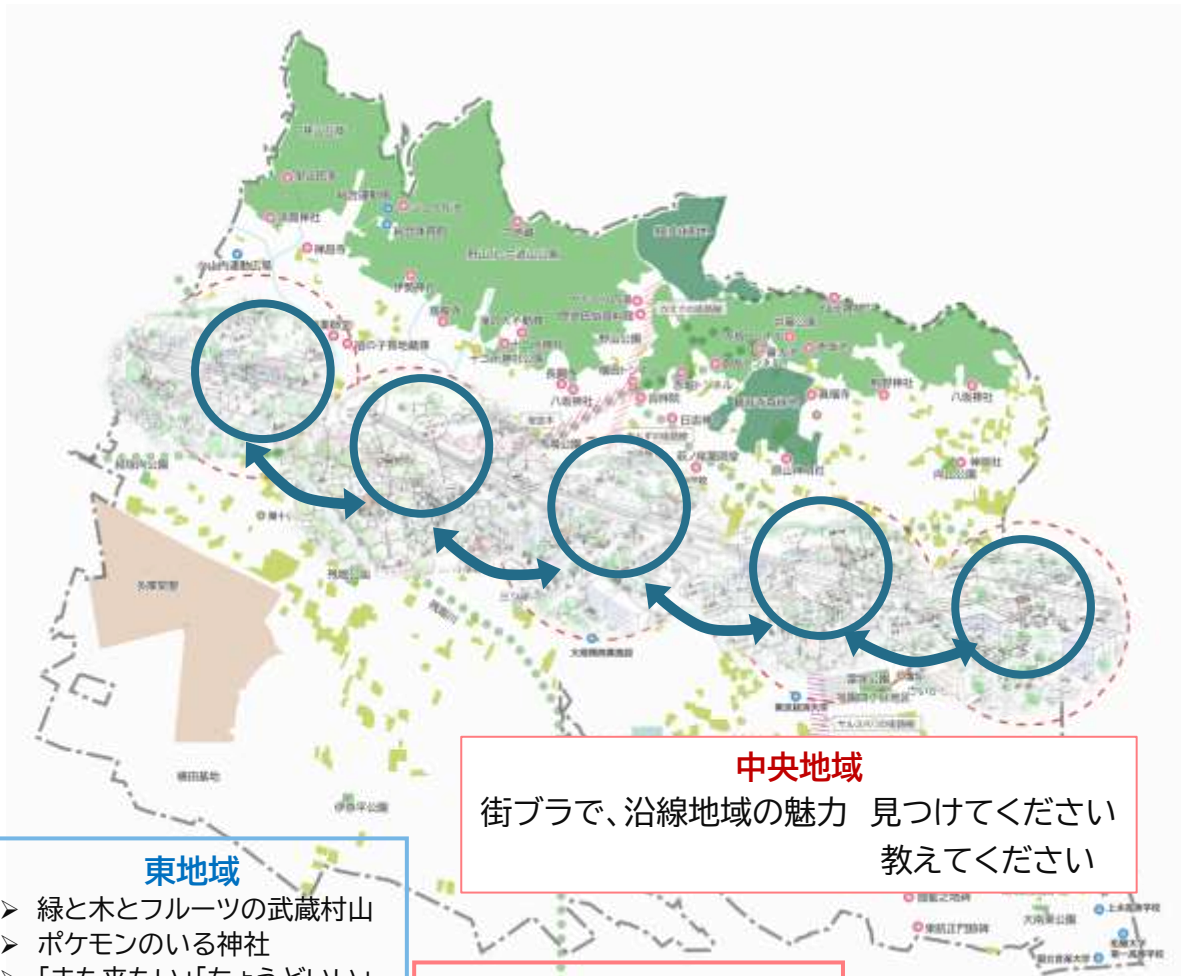
いなかいね／自然豊か／多世代交流

キャッチフレーズは
短くしてほしい⇒長
すぎて頭に残らない



将来イメージ図(案)に対する意見

6) 沿線全体



東地域

- 緑と木とフルーツの武蔵村山
- ポケモンのいる神社
- 「また来たい」「ちょうどいい」
- 東じゃないよ武蔵だよ
- 歩いてみたくなるまち(お店が多い等)
- ようこそ「駅のなかった」武蔵村山へ
- 田舎っぽいけど東京都です
- 駅ができて武蔵村山らしくしてほしい
- 遠くをながめてみませんか
- 広い道路とモノレール
- 田舎の空気すいに行こう
- 30年後に文化が生まれている(中野、高円寺など)
- 一日乗りたい多摩モノレール～あそびほうだい～
- みつけた私の空間(居場所)
- ぶらり途中下車の旅
- 全ての駅に共通するが、狭山丘陵や富士山などの景色を楽しむには高い建物、電線はない方がよい。イメージ図のように電線のないまちがよい

中央地域

街ブラで、沿線地域の魅力 見つけてください
教えてください

中央地域

- なんとなく心地よいまち武蔵村山
- ゆるいまちで
- つながっていく駅
- 多摩開墾、横田基地など特徴的空間
- 沿線全体で街ぶらができる、歩いて楽しめる
- 沿線5駅ぶらり途中下車(五感)
- 武蔵→歴史・伝統・残したいもの守りたいもの
- 魅力探す・発見する→魅力見つけてください
- 街ブラで魅力教えてください
- 村もある、山もある
- 各駅にうどん店
- 沿線地域をみんなで育てていく

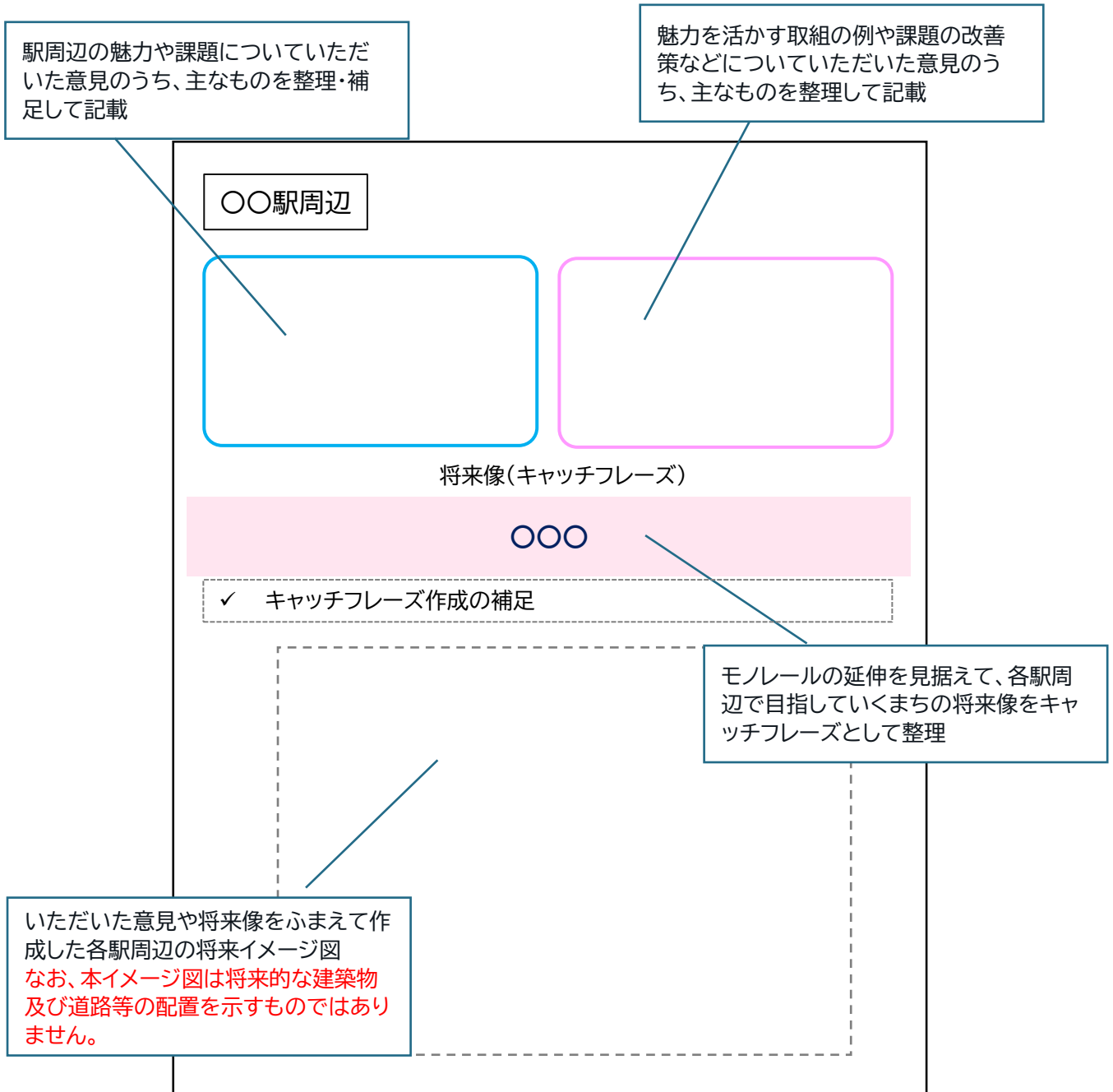
西地域

- 元気な若者を育む東京の里山
- 若者が元気な東京の里山
- 東京の「いなか」いいね!
- 豊かな自然にふれて人と交流できるまち
- また来たいと思える街にしてほしい
- 戻ってきたくなるようなまち
- 空が広い
- わくわくするまち
- 自然が多い
- やっと駅ができました
- ダンスとみどり
- うどんとみどり

Ⅲ. まとめ

第1回～第3回までの意見を踏まえ、市民ワークショップにおける各駅周辺の「将来像・キャッチフレーズ」及び「将来イメージ図」を作成しました。

市民ワークショップにおいていただいた意見や将来像及び将来イメージ図については、令和6年度に策定する予定である「まちづくり方針」など、様々なまちづくりに関する計画等の参考にします。



No. 1 駅周辺

地域の魅力や課題

- 武蔵村山の玄関口(東大和市との境に位置し、最も立川・都心寄りである)
- 大規模な都営団地である村山団地や複数の商店街がある
- 村山うどんの店が近くにない
- 道路が狭い
- 多世代が集まり、交流する場が無い

など

取組の例や改善策など

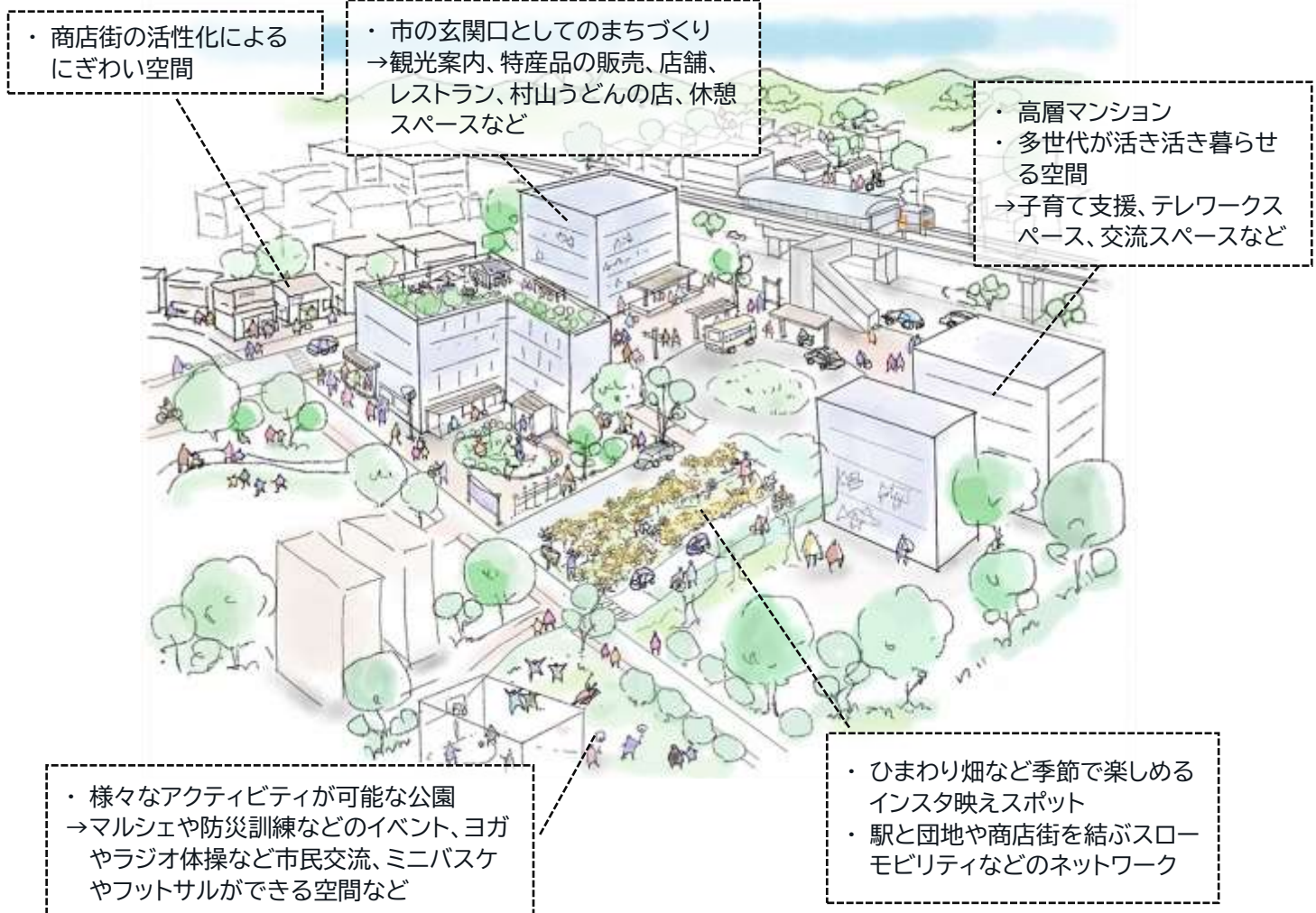
- 市の玄関口としてのまちづくり
案内所、情報発信、交流の場、バス発着、送迎ポイント、駐車・駐輪スペースなど
- 商店街の活性化による賑わいづくり
- 道路などの基盤の強化
- 店舗や交流空間など、賑わいや居場所の創出
- 狭山丘陵など、地域資源の活用

など

将来像(キャッチフレーズ)

“あの”武蔵村山へようこそ！

- ✓ 「あの鉄道のない市」という否定的なイメージをあえてキャッチフレーズに盛り込みました。
- ✓ 市の玄関口という位置付けを踏まえ、多くの人に訪れて欲しいとの気持ちを込めて「ようこそ！」というフレーズを盛り込みました。



No. 2 駅周辺

地域の魅力や課題

- 医療系の施設が多い(村山医療センター、東京小児療育病院)
- 駅周辺に畑が多く、体験農園もある
- 東京経済大学武蔵村山キャンパスがあり、大学生がいる
- 道路が狭い
- 活用されていない土地が多い
- 交流の場が少ない
- スーパー、飲食店が少ない など

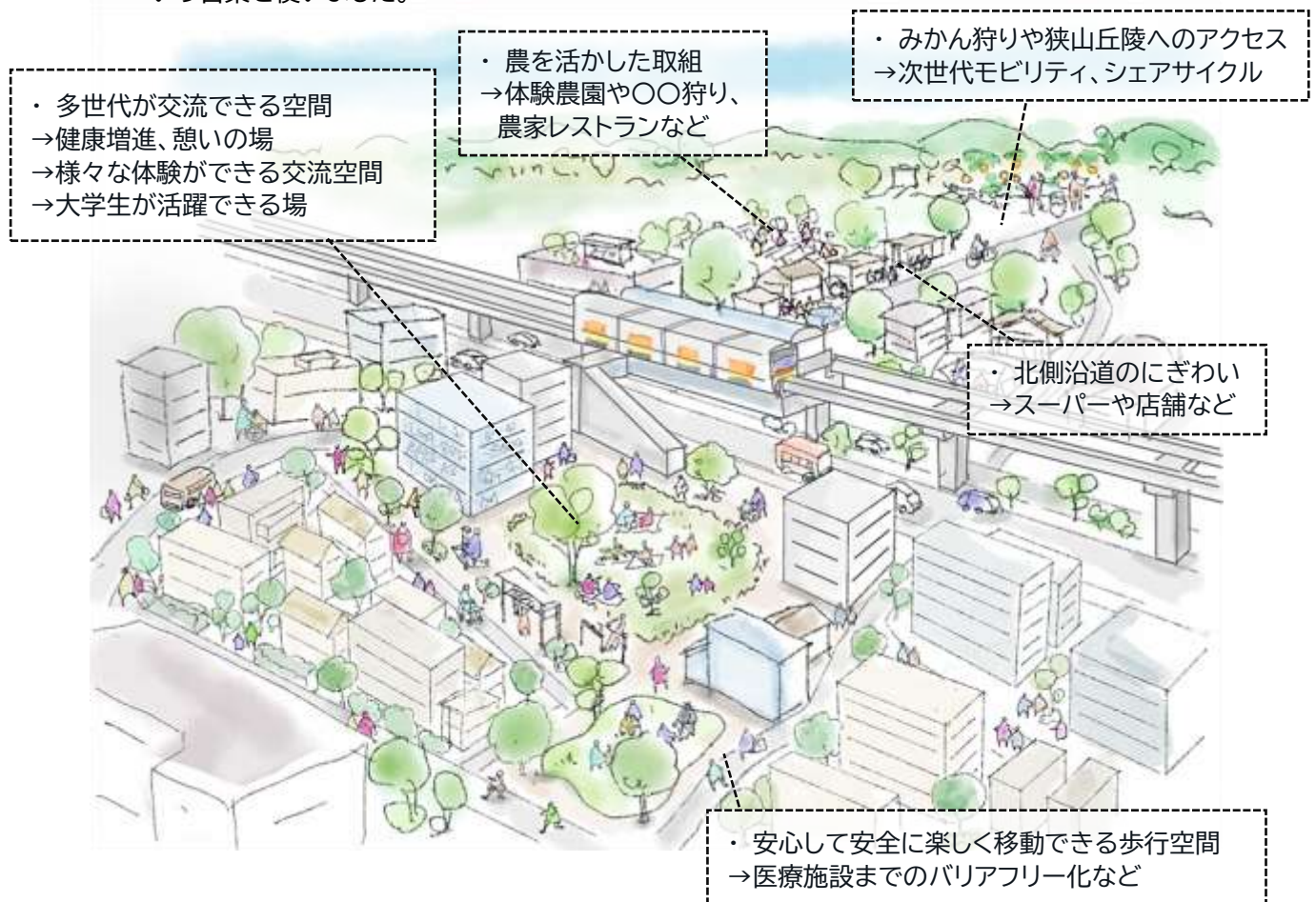
取組の例や改善策など

- 畑など農地が多いので、農業体験など農を活かした取組み
- みかん狩やいちご狩りなどを体験できる場
- 医療施設や大学などの立地を活用
- 多世代が使える居場所や交流の場づくり
- 大学生の力を活かす場
- 中砂新道沿いに店舗を増やす
- 医療施設までのアクセス、バリアフリー向上 など

将来像(キャッチフレーズ)

おせっかいが^{あか}つなぐ灯るいまち

- ✓ 農を活かした様々な体験や、仕事帰り・学校帰りの人が集まる場等を通じて、おせっかいな人たちがここに来る人をつなぎ、おせっかいで成り立つようなまちになってほしいという思いをこめてキーワードを盛り込みました。
- ✓ 商業施設が少なく夜は暗い現状を踏まえ、夜まで明るいまちにしたいという思いを込めて「灯」という言葉を使いました。



No. 3 駅周辺

地域の魅力や課題

- 駅前広場ができる予定である。
- 大規模商業施設(イオンモール)がある
- 田畑、果樹園がある
- 駅の南側と比べ、北側はにぎわい不足
- 道路幅員、歩道が狭い
- 北の方には野山北公園やかたくりの湯、トンネルがある

取組の例や改善策など

- シンボリックな空間づくり
- 農を活かした観光拠点
- 交流、くつろげる駅前空間
- 駅を中心とした交通ネットワークの構築
- 歩いて楽しめるまちづくり
- 宿泊施設や居酒屋、趣味の店
- 企業の誘致
- 街を地域で維持管理する体制、仕組みづくり

将来像(キャッチフレーズ)

ここから広がるクロスポイント

- ✓ 人と人、人と自然、人と物が集まり、交差し、広がっていく中心地となるよう「クロスポイント」というフレーズを盛り込みました。

- ・ 市の中心拠点としてのまちづくり
→観光案内や物産展など
→歩いている人が休憩できる空間
→飲食できる店舗
→宿泊施設、企業などの誘致
→多種多様な交流が可能な空間

- ・ にぎわいのある駅前広場と公園

- ・ 狭山丘陵へのアクセス
→自転車やバス、次世代モビリティなどの拠点

- ・ 沿道のにぎわい
→オープンカフェや居酒屋など

- ・ 歩いて楽しいウォーカブルな空間
→歩きやすい路面、樹木や花壇、風が抜ける など
・ 大型商業施設等とのアクセス

- ・ 大きなイベントも開催可能な公園
→マルシェやお祭り
→キッチンカーなど
→多世代が楽しめる公園

No. 4 駅周辺

地域の魅力や課題

- 緑が多い(狭山丘陵、野山北公園自転車道、山王森公園など)
- 桜並木がある(野山北公園自転車道)
- やさしい気質の子が多い
- 隠れ家的なお店がある
- 公共施設が不足
- 魅力的なお店が少ない

取組の例や改善策など

- ウォーキングやサイクリングの休憩所
- 桜並木を活かした魅力づくり(朝市ストリート、休憩スペースなど)
- 駅前広場のまわりに飲食店や喫茶店
- 駅前広場に噴水
- 野山北公園自転車道のリニューアル
- 駅前に自転車やウォーキングの拠点
- 地域をつなぐバス

将来像(キャッチフレーズ)

桜舞う憩いのまち

- ✓ 野山北公園自転車道の桜並木という地域最大の魅力を活かしたまちづくりをイメージしました
- ✓ 自転車道を活かしたアクティビティやコミュニティの場を通じて、人々が憩えるまちづくりをイメージしました。

・ サイクリング・ラン&ウォーキングの拠点
→ランナーズステーションなど
→噴水があり休憩、憩いの空間

・ 野山北公園自転車道の活用
→朝市ストリート
→桜マルシェなどの開催
→休憩所・カフェ



・ 隠れ家的なカフェがあり、
住み心地のよい住宅地の
広がり

・ 野山北公園自転車道と駅前
空間とをスムーズに移動

・ バスなど移動手段の強化

No. 5 駅周辺

地域の魅力や課題

- 自然が豊か(狭山丘陵、残堀川、里山、野山北公園自転車道など)
- 地域資源が多い(里山民家、体育館、多摩開墾など)
- 子どもや高校生が多い(都立武蔵村山高校)
- やさしい気質の子どもの多い
- 大規模農地である多摩開墾がある
- バスがない交通不便地域がある など

取組の例や改善策など

- 子ども・学生の活力を活かす場づくり
- 残堀川の活用(まつり、親水広場など)
- 地域資源(里山民家、体育館、多摩開墾など)を活かした取組み
- 10年後の人口増を見据えたまちづくり(交流の場、病院、店舗など)
- 農地や緑の有効活用
- 駅前広場と時間を費やせる施設・店舗 など

将来像(キャッチフレーズ)

帰ってきたいと思える緑のまち

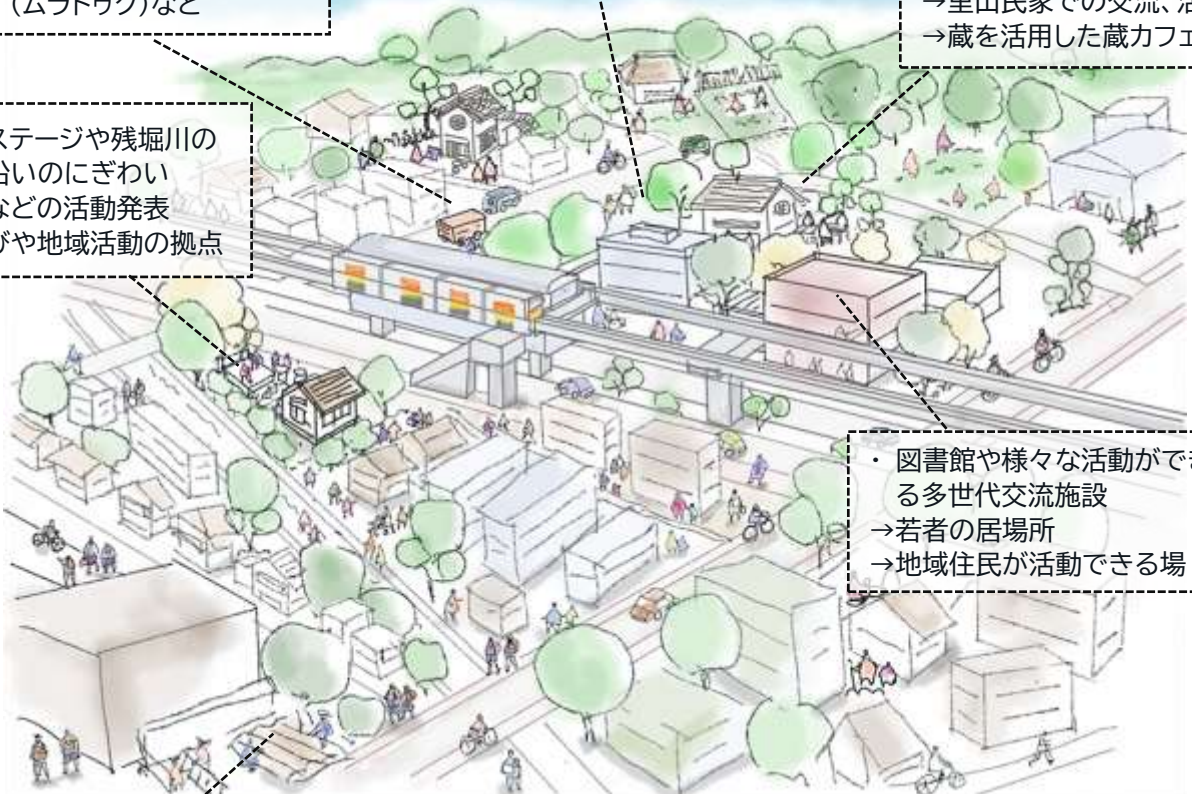
- ✓ 子どもや学生が里山や残堀川などの豊かな自然の中で伸び伸びと育ち、大人になった時にまた帰ってきたいようなまちをイメージしました。
- ✓ 職場や学校などから帰ってきたときにほっとできるような、緑のある落ち着いたまちをイメージしました。

・ バスなど移動手段の強化
→バスや次世代モビリティ(ムラトック)など

・ 気軽に買い物・飲食できる店舗

・ 地域資源の活用
→里山民家での交流、活動
→蔵を活用した蔵カフェなど

・ 屋外ステージや残堀川の河川沿いのにぎわい
→学生などの活動発表
→川遊びや地域活動の拠点



・ 図書館や様々な活動ができる多世代交流施設
→若者の居場所
→地域住民が活動できる場

・ 大規模農園との連携
→学生や地域住民の農業体験など

沿線全体



将来像(キャッチフレーズ)案

沿線全体の将来像につきましては、様々な視点の案を出していただいたことから、ひとつに絞り切らず、複数の案にまとめました。

- モノレールで、30年後に文化が生まれるまち
- なんとなく心地よくゆるくつながるまち
- やっと駅ができた！ワクワクがとまらない！
- 駅ができて自然や人の心は変わらないまち
- 武蔵村山の歴史・伝統・自然・人を守り育てる

- 元気な若者を育む東京の里山
- 戻ってきたくなる、また来たいと思うまち
- 沿線ぶらり途中下車で五感を磨く
- 乗って降りて歩いてまた乗って、まちの魅力発見しよう

IV. 資料編

1. ワークショップ通信

市民ワークショップの結果を広く市民にお知らせするため、各回終了後に「市民ワークショップ通信」を作成し、市のホームページに掲載しました。

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」

市民ワークショップ通信 1

2023年6月

多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考えるワークショップの第1回目を開催しました。当日は真夏を思わせるようなお天気の中、朝早い時刻にも関わらず多くの参加者があり、活発な意見交換が行われました。ワークショップは今回を含め3回開催を予定しており、終了後には報告書としてとりまとめ、公表します。

◆第1回：中部地区会館（武蔵村山市役所）401大集会室
2023年6月17日（土）9:30～11:30

● **イントロダクション**
様より、多摩都市モノレールの路線計画及び延伸に向けた取組、市民ワークショップ開催の概要について説明しました。

● **モノレール延伸を見据えたまちづくりについて**
コーディネーターである日本大学大塚教授による「モノレール延伸を見据えたまちづくりについて」と題した講演があり、都市の発展から、都市と交通の関係などについて、事例を交えたお話しがありました。

● **意見交換** **第1回のテーマ：地域の課題と魅力**
3地域（東地域・中央地域・西地域）でグループになり、地域ごとに自己紹介の時間を設け、お話しと記入している資料やワークショップに参加した意図などを発表していただきました。
その後、市全体や地域の魅力、「課題-解決」など「こんなことができればいいな」ということについて各自意見を村集（緑、青、赤）の3色に書き込み、意見交換を行いました。

● **発表**
地域ごとに意見のまとめを発表しました。東地域では、自然や緑、高地が多いことが魅力である、移動がしづかい、交通がしやすいなどの意見が多くありました。緑ができることにより、魅力が活かされた施設や文化ができる場づくりや安全に声が多くなりました。

◆第2回のテーマ：まちづくりのテーマ-各駅周辺の将来像について

●お問い合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 総務まちづくり係
電話：042-565-1111（内線279）

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」

市民ワークショップ通信 1

2023年6月

各地域の主な意見

東地域

魅力

- ・意見が活発、お話しが面白い
- ・参加者が多い、緑が多く園地がある
- ・特色がある（みかん・大宮城）
- ・農産物の種類が多い
- ・気取りがなくて楽しい
- ・公園が多い

課題

- ・道路や歩道が狭く、移動がしづかい
- ・緑・歩道確保してほしい
- ・人とのつながりが希薄
- ・交通の便がない
- ・駅周辺が寂しい

こんなことができればあったらいい

- ・農産物の産地と観光の拠点になる
- ・駅前2次圏に立ち寄ることのできる交通機関
- ・コミュニティガーデンや農産物直売場など交流できる場
- ・駅山の魅力を生かして外周人を呼び込む
- ・多世代が活躍できる場
- ・大学や高校との連携
- ・盛り立てることができる

中央地域

魅力

- ・イベントがある、買い物や便利
- ・緑が多く自然が豊か
- ・公園、運動場が多い
- ・駅には公園がある
- ・トンネルがある、トンネルが涼しい
- ・駅周辺が賑わいやすい

課題

- ・歩道が狭い、歩道が多い
- ・人が交流しにくい
- ・公園へのアクセスが悪い
- ・子どもの遊び場が少ない
- ・店舗が少ない

こんなことができればあったらいい

- ・駅前イベントやマルシェなどができる交流の場
- ・駅周辺に子供が遊べるような施設ができること
- ・子どもや高齢者、外国人が活躍できる場
- ・公園や運動場など
- ・コミュニティ交流、図書館など
- ・トンネルを通じたイベント
- ・ウォーキング道や立ち寄りカフェ

西地域

魅力

- ・緑が多く自然が豊か
- ・みかん畑とそこからの景色
- ・園地が広い
- ・広大な農地
- ・魅力あるお土産が多い

課題

- ・交通が不便な地域
- ・歩道が狭い
- ・公共施設が少ない、少ない
- ・かたりの歩道整備
- ・運動場が狭い
- ・交通でも不便が多い

こんなことができればあったらいい

- ・駅前広場をつくり、一歩づつ歩道を広げる
- ・施設や公園
- ・多世代交流ができる場
- ・多様な人々が集える場の
- ・多摩駅を歩行者の拠点にする
- ・子ども遊びのサードプレイス
- ・文化施設（博物館や科学館等）
- ・店舗やサービスのある駅を目標とする

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」

市民ワークショップ通信 2

2023年7月

第2回目のワークショップは、7月初日に開催しました。当日は若干雨降りのお天気でしたが、夏らしく汗を流す多くの皆さんにお集まりいただき、活発な意見交換が行われました。

◆第2回：さくらホール 展示室
2023年7月1日（土）9:30～11:30

第2回目となる今回は、事前にアンケートをみて、魅力や課題生活から選出する地域のアイデアと、将来をイメージしたキーワードについて意見交換を行いました。
それぞれの地域で魅力や課題を考えた地域のアイデアやキーワードなどが発表され、また新たな発見も多くありました。

● **意見交換** **第2回のテーマ：各駅周辺のまちづくりにおける取組のアイデアと将来像**
3地域（東地域・中央地域・西地域）でグループになり、意見交換を行いました。まず、それぞれの駅周辺において、緑や公園などの魅力を活かすために取り組むべきこと、課題を解決するために取り組むべきことは何かあるか、討論に巻き込み意見交換しました。
次に、取組や課題をまとめることにより、将来どのようなまちになるか、各々の得意なアイデア、各駅で取り組むべきテーマやキーワードについて意見交換をし、整理しました。

● **発表**
地域ごとに特徴のある取組のアイデアや、その地域ならではの魅力や魅力を活かしたキーワードを発表しました。（※第1回、第2回は、ワークショップメンバーの意見の発表と取りまとめを行いました。）

● **まとめ**
コーディネーターの大塚先生からは、まちづくりは計画やビジョンを定めることが重要であること、モノレールを軸としたまちづくりについて議論していること、それぞれが得意なまちづくりの得意なところや得意なことを考える必要があることなどを話されました。
また、今回は意見交換が活発で、魅力的なアイデアやキーワードがまとめられたため嬉しかったです。

◆第3回のテーマ：各駅周辺及び駅全体の将来像について

●お問い合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 総務まちづくり係
電話：042-565-1111（内線279）

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」

市民ワークショップ通信 2

2023年7月

各地域の主な意見

東地域

No.1駅 **取組のアイデア**

- ・「武蔵村山の公園」として、東部地区に合わせたPRの場を設ける
- ・商店街を復活させる
- ・駅前や公園の活用がしやすい空間整備
- ・駐輪スペースの充実
- ・活用できるスペースの確保

将来像のテーマ

- ・武蔵村山の公園
- ・駅前が生き生きできるまち

No.2駅 **取組のアイデア**

- ・農産物と観光の拠点
- ・多世代が集まり交流ができるスペースづくり
- ・駅周辺に駅舎をその場で活用など活用
- ・まちに寄り添う「ファミリー」や「子育て」など、子育て支援の場
- ・駅前や公園の活用
- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・駅前広場の活用
- ・公園の活用
- ・公園の活用

将来像のテーマ

- ・駅舎を自然と調和させる
- ・駅舎も自然と調和させる
- ・みんなの心を結ぶ

中央地域

No.3駅 **取組のアイデア**

- ・市内の観光地や様々な観光客へのアクセスの改善
- ・交流の場をつくる
- ・多世代交流ができる場
- ・公園整備の充実
- ・公園で子どもを育てる体制づくり
- ・駅周辺に公園整備などを実施
- ・駅周辺に緑や公園を整備して活用
- ・大宮公園

将来像のテーマ

- ・緑と自然と調和させる
- ・大宮公園の活用

西地域

No.4駅 **取組のアイデア**

- ・ウォーキングなどの健康サポート
- ・駅周辺に公園整備などを行う
- ・公園整備の充実
- ・公園で子どもを育てる体制づくり
- ・駅周辺に公園整備などを実施
- ・駅周辺に緑や公園を整備して活用
- ・大宮公園

将来像のテーマ

- ・緑のまちで暮らす
- ・駅周辺に公園整備

No.5駅 **取組のアイデア**

- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり

将来像のテーマ

- ・高知に寄り添ったまちづくり
- ・高知に寄り添ったまちづくり

「多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える」

市民ワークショップ通信 3

2023年7月

毎週開催している市民ワークショップの最終回となる第3回目を開催しました。今回も多くの皆さんに参加いただき、活発な意見交換が行われました。

◆第3回「さくらホール」展示室
2023年7月22日(土)9:30～11:30

ワークショップ最終回となる今回は、地域の魅力や課題、地域のアイディアなどを踏まえて事務局が作成した将来イメージ案とキャッチフレーズの案を基に、「各区域」の将来像と「路線全体の将来像」について意見交換を行いました。

◆意見交換 第3回のテーマ「各区域の将来イメージと将来像・路線全体の将来像について」

3地域(東地域・中央地域・西地域)でグループになり、それぞれの区域の将来像(キャッチフレーズ)や将来イメージについて意見交換をしました。事務局が作成した将来イメージ案の案を基に、各区域が自分たちの意見を反映させたいイメージや、実現してほしいイメージ、実現してほしいイメージ、実現してほしいイメージについて意見を述べました。また、各区域ごとの将来像についてモノレールの路線像とどのように関係するかについても意見を述べました。

◆発表

各区域の発表については、事務局が作成した将来イメージ案とキャッチフレーズが発表されました。発表イメージについては、各区域の魅力を最大限に引き出すために追加してほしい要素が多く出されました。路線全体の将来像については、「駅をつなぐことで地域の魅力を最大限に引き出し、30年間にわたって文化を醸成していきたい」というような意見が非常に多く出されました。

◆まとめ

ファシリテーターの次長先生からは、「夢を語る計画を作るまでとても大変であり、今回のワークショップでは夢や理想が多かった。これによって計画を作る事ができたので実行に向けて、成功のためには文化を最大限に引き出すことにある。今度は夢を実現するだけでなく、市民参加の場がさらに広がることが大切だ」との言葉をいただきました。

今回の市民ワークショップの結果は報告書としてとりまとめます。また、地域の現状や上位計画、社会動向等の内容を踏まえ、令和6年度に路線のまちづくりに関する方針を策定します。

お問い合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 都市計画課 総務まちづくり係
電話:042-565-1111(内線279)

各地域の主な意見

東地域 中央地域 西地域

東地域

将来イメージ案 No.1案

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来像(キャッチフレーズ)

- あの山麓の山を眺めながら
- 駅前に山麓の山を眺めながら
- 山麓の山を眺めながら

将来イメージ案 No.2案

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来像(キャッチフレーズ)

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

中央地域

将来イメージ案 No.3案

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来像(キャッチフレーズ)

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

路線全体の将来像

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

西地域

将来イメージ案 No.4案

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来像(キャッチフレーズ)

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来イメージ案 No.5案

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

将来像(キャッチフレーズ)

- 駅前公園の整備
- 駅前広場の整備
- 駅前ビルディング

市民ワークショップ通信は、武蔵村山市のホームページに掲載しています。

武蔵村山市ホームページ ページ番号 1018491

トップページ > 市政情報 > 施策・計画 > まちづくり > 多摩都市モノレール > 多摩都市モノレール新駅周辺の将来像を考える市民ワークショップ



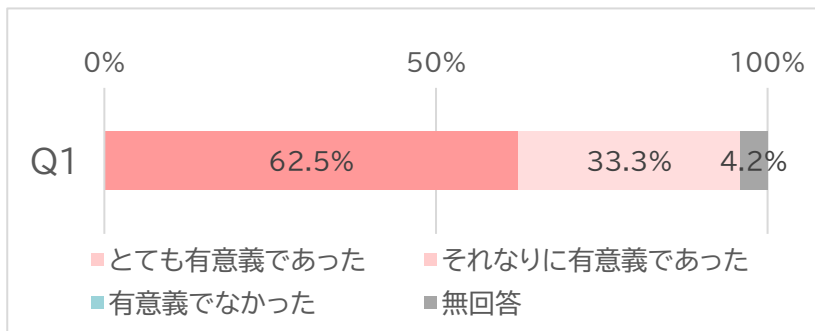
2. ワークショップに関するアンケート

市民ワークショップ第3回目終了後に、参加者の方々にワークショップに関するアンケートを実施しました。参加した感想としては、「有意義であった」との回答がほとんどでした。参加人数や開催期間についても「ちょうどよい」との回答が多くを占めていました。

また、今回のワークショップの進め方や内容、多摩都市モノレール新駅周辺のまちづくりについて、様々なご意見をいただきました。

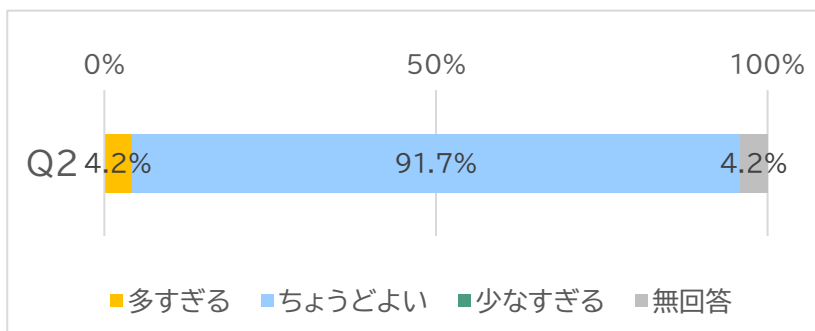
Q1:「市民ワークショップ」という取組について、参加した感想について

○とても有意義であった ○それなりに有意義であった ○有意義でなかった



Q2:ワークショップの参加人数について

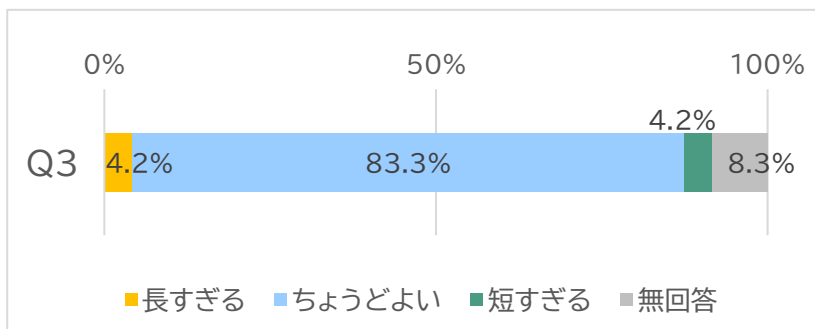
○多すぎる ○ちょうどよい ○少なすぎる



「人数はちょうどいいが、エリア分けでなく、別の区分けの方が良かったのでは」との意見がありました。

Q3:ワークショップの開催期間等について

○長すぎる ○ちょうどよい ○短すぎる



Q4:今回のワークショップの内容や進め方について(自由回答)

ご意見
<ul style="list-style-type: none">➤ 次回があるのならば、地域を取り払って全体で語りあう時間も欲しいです。全体的なまとまったテーマがないと、市のイメージがバラバラになってしまいます。➤ 他の地域の人達と話をする時間があっても良かったのではと思いました。3回とも同じ人達なので、毎回同じ内容になってしまう時間があつたので。違う地域の話(意見)も聞いてみたかったです。➤ 話題が盛り上がりました。➤ 今回のワークショップについて、各年齢も違い、意見が多く出て良かった。もう少し若い年齢層の市民が参加した方が良いと思う。➤ ポイントが多すぎて話がまとまらない。意見を音声認識で文字化する。➤ 皆さんの意見、大変参考になりました。ありがとうございました。➤ 縁あって出席させていただきましたが、とても楽しかったです。➤ ワークショップは初めて参加したが、意見しやすいと思った。➤ 答えを誘導するような進め方が気になった。5つの駅にそれぞれを考える意味は？ファシリテーターが機能していない。議論を促進させないとダメだと思う。➤ 市のまちづくり方針について、進め方、考え方なども参考になりました。今後の観光まちづくり協会の課題にしていきたいです。➤ とても素晴らしいワークショップであったと思います。➤ 1班の人数を半分にしないと、中々発言できない方も見受けられたので、前後半で少人数で話す時間、出た意見をまとめる時間に分けても良いのではないかと思います。➤ 夢なくして成功無し→では、成功とは？➤ とてもスムーズで楽しく、意見が言いやすかった。➤ ワークショップをもっと色々な場所で欲しい。土曜日は来られない友人が何人かいました。➤ とても良い。➤ 今回は、3つのエリアで分けての議論でしたが、やはり市全体を考えてのワークショップの方が良かったのではと感じました。→各駅が同じような考え方になりがちだったので。➤ もっと若い人、高校生・大学生の意見・アイデアを汲み取れるように。

Q5:多摩都市モノレール新駅周辺のまちづくりについて(自由回答)

ご意見
<ul style="list-style-type: none">➤ 弱者の立場(障害者・高齢者)を原点にして街づくりを考えていくことが先決。集いのスペース、学べるスペースがありませんので。福祉の原点で No.2 駅からの自立支援センター、国立病院へのアクセスを絶対に考えてほしい。➤ 公園駅を目指して下さい。WS 同窓会お願いします。➤ 楽しい、面白い街にしましょう。➤ 軌道交通なしで街の発展はないと思う。1日も早いモノレール延伸をお願いします。➤ 道が狭い。➤ 今までは、モノレールが近いようで遠かったのですが、かなり近いものになりました。今後共、何かありましたらお声がけ下さい。

- 交通便が良くなって欲しいが、環境が変わるのは求めていない。
- みんなの意見をモノレールの新駅の構内のレイアウト、展示などにも反映ができると良いと思います。
- 言いましたが、特にかたくりを是非再開できたら良いと思います。
- 瑞穂農芸高校の文化祭をモノレールでやって欲しい。物販など。(ワイン列車みたいな感じで)
- 予算の効率的な使い方をするためには、中心駅に予算を集中投入し、多くの多世代が集える駅前空間にし、他の駅は現在ある資源を最大限に活かす駅づくり、資源への誘導路の整備をした方がいいと思う。
- 本市の西側における施設の少なさ、交通の不便さを解消できるようなまちづくりを望みます。西側地域は人口が増えていくので、10年後を見据えた施策を望みます。